

## 平成 19 年度 中部 9 県観光検定

### 解答と解説

#### 問 1

外国人旅行者の訪日を飛躍的に拡大し、2010 年までに訪日外国人旅行者を 1,000 万人にする目標を達成するため、2003 年度より、国、地方公共団体、民間が共同して取り組む「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に取り組んでいる。「中部の観光」P142 参照。

#### 問 2

国土交通省では 2007 年から一定規模以上の宿泊施設の宿泊者数を定期的に集計して、これを「観光基礎統計」とすることとなり、予備調査の結果が公表された。これによると、中部 9 県宿泊者数の対全国比は約 18%と推計している。「中部の観光」P50 参照。

#### 問 3

街道観光は、街道(みち)を歩き、人々の交流の原点にふれるとともに、沿道の景観、街道や街道周辺に形成される文化の集積を訪ねる観光をいう。

都市観光は、都市(まち)そのもののもつ特色、そこに集積された独自の文化、景観等を探るとともに市民との交流を通じてまちづくりの原点にふれる観光をいう。

教育観光は、広義には、グランドツーリズムや修学旅行のように教育の一環として実施される観光活動すべての総称であり、教義には観光者の教養や自己啓発を主たる目的とする観光形態の観光をいう。「中部の観光」P146、P156、P163 参照。

#### 問 4

中部の世界遺産は、白川郷・五箇山(岐阜、富山)、紀伊山地の霊場と参詣道(三重、奈良、和歌山)、京都の文化財(滋賀、京都)の 3 つである。「中部の観光」P154 参照。

#### 問 5

環境省により選定された「中部の名水百選」では、黒部川、長良川、木曾川、柿田川等 22 件が入っている。「中部の観光」P61 参照。

#### 問 6

25 年振りに新しく策定した富山県の新キャッチフレーズは、立山連峰から神秘の海富山湾にかけての雄大な自然景観(パノラマ)や魚介類をはじめとする新鮮な食(キトキト)をイメージさせるもの。また、「来られ」という優しい語感の富山弁で、富山県への誘客を促進する。 は旧のキャッチフレーズ。

問 7

立山は、古くから信仰の山として知られており、富山県立山町にあり、富士山(山梨県・静岡県)、白山(石川県)とともに、日本三霊山のひとつとされている。

問 8

立山黒部アルペンルートは、ケーブルカー、高原バス、トロリーバス、ロープウェイの4種類の乗り物を使い継ぐ。立山駅から美女平(ケーブルカー)、美女平から室堂(高原バス)、室堂から大観峰(トロリーバス)、大観峰から黒部平(ロープウェイ)、黒部平から黒部湖(ケーブルカー)、黒部湖から扇沢(トロリーバス)での移動となる。

トロッコ電車は、日本一深いV字峡である黒部峡谷を41のトンネルと22の橋を渡りながら縫うように走る黒部峡谷鉄道の乗り物。

問 9

瑞龍寺は、富山県高岡市にあり、1663年完成。総門から、山門、仏殿、法堂(いずれも国宝)が一直線に並ぶ典型的な禅宗の伽藍配置が特徴的。瑞泉寺は、富山県南砺市にある北陸最大の木造建築物であり、浄土真宗の拠点。寺の随所に井波彫刻の見事な技が見られる。勝興寺は、富山県高岡市にあり、西本願寺を模した建築物であり、中世の城郭寺院の威勢を伝え、越中における浄土真宗の拠点として権勢をふるった。2月中旬～4月中旬にかけてはツバキの名所として知られている。清水寺は、京都にある有名な国宝寺院。

問 10

忍者ハットリくんは、富山県氷見市出身の藤子不二雄Aさんの作品。氷見市の湊川周辺には、忍者ハットリくんら7体のキャラクター像が設置されており、1時間毎に4分間の楽しいショーを繰り広げる。

藤子・F・不二雄さんは、富山県高岡市出身。高岡市にある高岡おとぎの森公園には、ドラえもんら6体のキャラクター像が設置されている。

問 11

山代温泉は明智光秀が湯治のために訪れ、与謝野晶子の心をとらえ、また「夢もおぼろな山代温泉」そんな言葉を記した泉鏡花の思いを揺らせ、そして、食の世界・陶芸の世界でその名を知られる北大路呂魯山人の遊び心を刺激せずにはおかなかった文化漂う名湯である。

問 12

浅野川は女川とも呼ばれ、加賀友禅流しでも知られている。

問 13

東茶屋街は浅野川の岸辺に位置し、江戸時代から花街として栄えた。格子戸の連なるまちなみは、金沢ならではの散策路となっている。主計町(かずえまち)茶屋街は、浅野川大橋から中の橋までの下流左岸の一画で藩政期には富田主計重屋の上屋敷があり、茶屋街としてにぎわった。なお、きた茶屋街は存在しない。

問 14

白鷺伝説が、今に伝わる和倉温泉は1200年の歴史を刻む、北陸の名湯であり、渚のいで湯として全国の皆様にご愛顧いただいている。泉質はナトリウム、カルシウム、塩化物泉で、源泉は90度の高温。白鷺が傷を癒すのを見て、温泉の発見と効能を知った人々は、小舟で沖合百メートルまで出て、お湯を汲み湯治に利用していた。温泉の利用が活発になるのは、江戸時代の初めからで、加賀藩の保護や支配の中で、湯島を造り、橋が架けられ、埋め立ての整備が進むにつれ、賑やかな湯治場として発展した。爾来、幾多の変遷を経て現在の温泉地が形成された。

問 15

お熊甲祭りは、毎年9月20日に行なわれる「杵旗祭り」で、国の重要無形民俗文化財に指定されている奇祭。町内の各集落に鎮座する19の末社からくりだした神輿は、猿田彦の先導で高さ20mの天を貫く深紅の杵旗の群れが「イヤサカサー」の掛け声と鉦・太鼓の音も賑やかに本社に参入。「島田ぐずし」と呼ばれる大技も披露され、祭りは最高潮に達する。

問 16

永平寺は、寛元2年(1244年)に開かれ、室町時代の初めに後円融天皇から「曹洞宗第一道場」の勅額を贈られた曹洞宗の大本山である。現在も開祖道元禅師によって定められた厳しい作法に従って雲水らが修行している。お寺に宿泊し、修行僧のように座禅や朝課を体験する参籠体験や、姿勢を正しく、心静かに無心にお経を写していただく写経体験もできる。(要予約)。

吉峰寺は福井県永平寺町にあり、曹洞宗開祖道元禅師が大本山永平寺に移られる前に修行されたお寺で、ここより永平寺まで三里半の山路も道元禅師らがお通りになられた祖跡コースとなっている。

宝慶寺は福井県大野市の清滝川の上流に位置する名刹である。中国宋時代の高僧寂円が、永平寺の開祖道元禅師を慕い来日、弘安元年(1278年)に開いた曹洞宗の寺である。道元禅師画像など多数の県指定文化財が保有され、また近くには国指定の重要文化財「旧橋本家住宅」もある。

西福寺は約630年前に良如上人が開いた浄土宗鎮西派の中本山である。福井県敦賀市の大原山麓にあり、四季折々の表情を見せてくれる。特に紅葉のころが美しく、浄土宗では北陸きっての名刹とされている。造られたのは江戸中期で、国の名勝に指定されている。重要文化財も多数所あり、毎年11月3日に一般公開される。

問 17

三方五湖は、低い山々の谷間にちりばめられた三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖、日向湖の 5 つの湖の総称で、これらが醸し出す微妙な色あいは神秘的である。全長 11.2km のレインボーライン(有料道路)からはその違いがよくわかり、五湖と日本海のダイナミックな景観が楽しめる。また 2005 年 11 月にはラムサール条約登録湿地となっている。

北潟湖は、福井県と石川県の境にある湖で、サイクリングロードや花菖蒲園を楽しむことができる。北潟湖畔にある花菖蒲園は、全国でも有数のもので、5月下旬のころより約 1 か月間、300 種 50 万株の花が見事に咲き揃う。6月下旬には花菖蒲まつりが開催される。

九頭竜湖は、岩を積み上げたロックフィル式ダムの建設によってできた人造湖で、その大きさは十和田湖に匹敵するといわれている。瀬戸大橋のテストケースとして掛けられた夢の掛け橋があり、豪快な山岳風景と広大なダム湖に優雅に溶け込んでおり、豊かな自然に恵まれ、四季折々の美しさを見せてくれる。

夜叉ヶ池は、福井県南越前町の池で、標高 1099m の高所にあり、神秘的な雰囲気醸し出している。周囲 230m、水深 7.7m といわれるほぼ円形のこの池には多くの伝説がある。そのひとつに、干ばつを救うために池に身を投じた娘の言い伝えがあり、別名「雨乞いの池」とも呼ばれている。

問 18

東尋坊は平安末期の白山平泉寺(現在の平泉寺白山神社)の僧侶で、大変力が強く乱暴者だったので、三国の岸壁で行われた酒宴の時、海に突き落とされたことから、その名が付いたとされている。

白山平泉寺は、養老元年(717)に泰澄大師によって建てられた修験道三聖地の一つ。もともと神仏混合の寺院であったが、明治の廃仏毀釈運動の際に現在の平泉寺白山神社となった。現在の拝殿はもとの大拝殿の 1/10 にすぎず、大拝殿は 45 間以上(81m)もありましたが、兵火により焼失した。拝殿跡はじゅうたんを敷きつめたような青苔が美しく、拝殿の入口には中宮平泉寺と一品天真親王の筆による立派な額がかけられ、中に数多くの絵馬が奉納されている。

明通寺は福井県小浜市にある寺で、本堂と三重塔は国宝に、藤原時代の仏像4体は重要文化財に指定されている。永平寺は道元禅師が開いた福井県永平寺町にある曹洞宗の大本山である。大安禅師は福井県福井市にある臨済宗の寺で、歴代福井藩主の菩提寺でもあり、数百点にもおよぶ文化財が保存されている。

問 19

熊川宿は、福井県若狭町の宿場町。若狭(現在の福井県の南部)から京都を結ぶ重要な宿場で、16世紀の終わりごろから発展を続けた。奉行所・板所・お蔵屋敷の跡が残り、情緒あふれる街道沿いには昔ながらの用水路も流れている。熊川宿は、重要伝統的建造物群保存地区や歴史国道選定地区、水の郷100選認定地区にも指定されている。

今庄宿は、福井県南越前町の宿場町。京都から北陸へ向かう際の交通の要所として中世から近

世にかけて栄え、本陣跡や藩札交換所跡、旅籠など、宿場町として栄えた名残をとどめた街並みが今も残り、往時の様子を偲ぶことができる。

三国湊は、福井県坂井市にある港町三国のかつての中心部。情緒ある格子戸が連なる宮太旅館、豪商の面影を今に伝える旧岸名家、大正ロマンを感じさせる旧森田銀行本店など、三国湊の古い町並みには歴史と魅力が溢れている。

三丁町は、福井県小浜市のかつての花街。狭い路地をはさみ、紅殻格子や出格子の家や料亭が軒を連ね、落ち着いた雰囲気の中に往時の面影を残している。

#### 問 20

福井県勝山市にある世界有数の恐竜専門の博物館である。ドーム状の広大な無柱空間には、所せましと恐竜骨格や化石・標本、ジオラマ、復元模型などが展示されており、大迫力の恐竜を間近で見ることができる。恐竜博物館の展示は、メインとなる「恐竜の世界」のほか、「地球の科学」「生命の歴史」の3つのゾーンから構成されていて、子どもから大人まで楽しんで学習できる。また、恐竜博物館がある「かつやま恐竜の森」では、化石発掘体験も楽しめる。

フクイサウルスは草食恐竜、フクイラプトルは肉食恐竜で、ともに福井県勝山市で発見された。あとの2つの恐竜は存在しない。

#### 問 21

入り組んだ湖の形が芙蓉の葉に似ているところから、別名「芙蓉湖」とも呼ばれるのが、長野県では最北端の湖、信濃町にある野尻湖である。周囲を北信五岳(飯綱山、戸隠山、黒姫山、妙高山、斑尾山)が囲み、これらの山々が野尻湖の景観を高めるすばらしい背景となっている。

1948年(昭和23年)に水位が下がった湖底から、野尻湖畔の旅館のご主人が、偶然ナウマンゾウの臼歯(きゅうし)を発見した。その後、1962年(昭和37年)から現在まで野尻湖発掘調査が続けられており、ナウマンゾウの化石が含まれる地層から、旧石器人類のつくったナイフ形石器、スクレイパー(皮はぎ)などの石器、骨製ナイフ、骨製クリーヴァー(ナタ)などの骨器がいっしょに発見されている。これらは野尻湖にいた旧石器人類(野尻湖人)たちが野尻湖に残したものです。骨器を特徴とする文化を野尻湖文化とよんでいる。

また、野尻湖発掘調査の成果を中心に、約5万年前から現在に至るまでの、野尻湖周辺の自然環境を研究・展示している「野尻湖ナウマンゾウ博物館」が1984年(昭和59年)に開館している。

#### 問 22

旧三笠ホテルは、1906年(明治39年)、日本郵船や明治製菓の重役を務めた実業家の山本直良が、「三笠ホテル」として営業を始めた。このホテルは、日本人設計者と日本人の技によって作り上げた。

明治日本の建築技術の粋を集めた西洋建築様式の建物で、ホテル内は、電灯によるシャンデリ

ア照明、英国製タイルを張った水洗便所、英国製のカーペットの採用など、当時の最先端・最高級の設備が整えられていた。

また、軽井沢駅までの約2キロの道のりを黒塗りの馬車で送迎するなどのサービスもあり、その豪華さゆえ、渋沢栄一や岡琢磨(旧三井財閥総帥)、住友吉左衛門(旧住友財閥総帥)、乃木希典将軍、近衛文麿、有島武郎、里見淳、清朝最後の皇帝溥儀といった名だたる顔ぶれが宿泊する、華やかな社交の舞台で、人々は、この三笠ホテルを『軽井沢の鹿鳴館』と呼んだ。

なお、1980年(昭和55年)に国の重要文化財に指定された。

#### 問 23

『LIMIT OF LOVE 海猿』で大ヒットを記録した羽住英一郎監督最新作『銀色のシーズン』が、長野県白馬村の全面協力を得て、白馬八方尾根スキー場を中心に雪山で3ヶ月にも及び長期オーロラロケーションを経て、08年1月ロードショー公開される予定である。

白馬八方尾根スキー場は、標高差1,071mを一気に滑り降りる3本のロングコースを軸に、13の個性的なコースをレイアウトしている。世界レベルのダウンヒルコースや、黒菱のコブなどの上級コースもさることながら、山麓には初心者やファミリーも十分に楽しめる緩斜面が多いのも八方尾根の魅力である。

また、第18回冬季オリンピック競技長野大会の男女滑降、男子スーパー大回転、女子複合のアルペンスキースピード系の種目が行われた。

#### 問 24

日本中部の山岳地帯の難所をたどり江戸と京を結んだ中山道は、山深い木曾路を通ることから木曾街道とも呼ばれている。中山道69次のうち江戸から数えて42番目となる「妻籠宿」は、中山道と飯田街道が分岐する交通の要衝として古くから賑わいをみせていた。

妻籠宿は、全国ではじめて古い町並みを保存した宿場町で、1976年(昭和51年)、国の重要伝統的建築群保存地区に選定され、江戸時代から時を止めたような風情が守られている。

#### 問 25

信州遠山郷は、三州、遠州、信州の接する山岳地帯で、南アルプスに抱かれた山深い里である。ここで旧暦霜月、新暦12月の冬至の頃、万物の生命力の衰える冬の季節に、復活蘇生を祈るまつりとして行われてきたのが「霜月祭」である。いわゆる「霜月神楽」とか「湯立神楽」と言われるもので、民俗学研究では古くから知られてきたまつりで、現在、長野県飯田市になった旧上村、南信濃村の2村、13ヶ所に伝えられている。

#### 問 26

1979年(昭和54年)、国の重要無形民俗文化財に指定された。うだつの残る家は全部で19棟。これだけの数を残すのは全国的にも珍しいことである。中でも、小坂家住宅は国指定重要文化財

になっている。

問 27

岐阜県の道の駅は、平成19年度に新たに1箇所開設され49箇所となった。

なお、岐阜県は、北海道の101箇所を次いで2番目に多く、中部では長野39、静岡19、石川18、三重15、滋賀14、富山13、愛知10、福井8箇所の順となっている。

問28

白川郷合掌造りの屋根は、概ね30年ごとに葺き替える。

問29

本巣市にある桜は淡墨桜とよばれ、荘川桜、臥龍桜とともに岐阜県の3大桜となっている。

問30

鵜飼いは毎年5月11日から10月15日まで行われる夏の風物詩である。鵜匠は12羽程度の鵜を操って鵜をとる。伝統的な漁法である。鵜匠は代々世襲とされている。

現在、長良川6名、関市3名の9名が正式な鵜匠として登録されている。

問 31

トンボロ現象とは、普段は海によって隔てられている陸地と島が、干潮時に干上がった海底でつながる現象をいう。

この現象が発生する島は、静岡県西伊豆町堂ヶ島(三四郎島)、香川県小豆島町小豆島(城ヶ島)、長崎県五島市奈留島(前島と末津島)、モンサンミッシェルが代表例である。

問 32

柿田川は、富士山の雪解け水が湧水となり、水量は1日100万トン以上で日本一の湧水量を誇っている。水質は良好でそのまま飲料水として利用できる。年中一定温度(15度前後)を保ち、貴重な動植物の生態系を維持している。現在は自然を生かした公園に整備され、ペットボトルになった湧水はお土産にもなっている。

問 33

川端康成は、若き日に天城を旅し、約10年にわたって湯ヶ島の湯元館を定宿にし、この頃の経験から名作「伊豆の踊子」を著した。旧天城峠を描写した冒頭の文章は有名であるが、小生津一節に「最初は私が湯ヶ島に来る途中、修善寺へ行く彼女たちと湯川橋の近くで出会った」と書かれている。

問 34

安倍川もちは徳川家康が名付け親といわれ、静岡名産のお菓子となっている。

問 35

浜松モザイクカルチャー大会は、「人と自然のシンフォニー」をテーマに、浜松市西区舘山寺町の「はままつフラワーパーク」を主会場に開催される予定である。

問 36

愛知県内には、如庵(犬山市)、犬山城天守(犬山市)、金蓮寺弥陀堂(幡豆郡吉良町)の3つがある。

問 37

尾張国の代表的な四つの観音、荒子観音・甚目寺観音・竜泉寺観音・笠寺観音をいう。いずれの寺も開基から千年以上を経った古刹である。

大須観音は、美濃の大須から徳川家康により移されたもので、比較的新しいお寺である。

問 38

日本六古窯は瀬戸焼、常滑焼、越前焼、信楽焼、丹波焼及び備前焼をいう。

問 39

徳川美術館は、侯爵徳川義親の寄贈にもとづき、御三家筆頭 62 万石の大大名尾張徳川家に伝えられた数々の重宝を収め、昭和 10 年に開館した美術館である。収蔵品は徳川家康の遺品を中心に、世界的にも有名な国宝「源氏物語絵巻」はじめ国宝 9 件、重要文化財 57 件、重要美術品 47 件をはじめ、一万数千件におよぶ。

問 40

日本で唯一 1 頭しかおらず、名前が「ラン丸」というオスの固体である。 については、ジャイアントパンダ、オカピと合わせて世界四大珍獣と呼ばれているが、 恩賜上野動物園でも、 は横浜市立金沢動物園などでも見られる。

問 41

伊勢の国の玄関口である桑名宿と尾張熱田の宮宿の間が、海路七里あったことから俗に「七里の渡し」と呼ばれている。桑名の七里の渡し跡にある大鳥居は、ここから伊勢の国に入ることから「伊勢の国一の鳥居」と称され、20年に1度、伊勢神宮の遷宮ごとに建て替えられている。

問 42

榊原温泉は、清少納言の「枕草子」117段に「湯はななくりの湯、有馬の湯、玉造の湯」と謳われ、日本三名泉の一つに数えられている。「ななくりの湯」こそが榊原温泉です。京の都では、温泉の代名詞にもたとえられた名湯である。泉質は、アルカリ単純泉で、特に皮膚病、神経痛、リウマチ、婦人病などに効果があり、ツルツルとした肌ざわりで、美肌効果も高いことから「美人の湯」としても知られている。

問 43

三島由紀夫氏が昭和29年に発表した小説「潮騒」は、鳥羽の離島である「神島」を舞台にしたもので、漁師の青年・新治と海女の初江との淡い恋心を描いた作品である。なお、鳥羽市には、神島のほか、菅島、答志島、坂手島という有人の離島があり、約5,000名の人々が暮らしている。

問 44

貞享5年(1688年)、松尾芭蕉の門弟服部土芳が庵を開き、「些中庵」と名づけました。庵を訪れた芭蕉が、庵開きの祝いに「みのむしの音を聞にこよ草の庵」の句を贈ったことから、上五の「みのむし」を取って蓑虫庵と呼ばれるようになった。なお、伊賀市には、蓑虫庵のほかにも、「芭蕉生家」、「故郷塚」、「上野天神宮」、「萬寿寺」、「俳聖殿」、「芭蕉翁記念館」、「芭蕉翁像」、「句碑」などの史跡や施設がある。

問 45

世界遺産に登録された正式名称は、「紀伊山地の霊場と参詣道」。平成13年に暫定リスト入りし、平成16年7月1日に登録が決定され、同年7月7日に登録された。「紀伊山地の霊場と参詣道」は、修験道の拠点である「吉野・大峯」、熊野信仰の中心地である「熊野三山」、真言密教の根本道場である「高野山」の三霊場及びそれらを結ぶ「参詣道」から構成されている。その所在地域は、三重県、奈良県、和歌山県の3県にまたがっている。

問 46

坂本城は明智光秀に命じて、大溝城は織田信澄に命じて、長浜城は羽柴秀吉に命じてそれぞれ築かせたが、佐和山城は鎌倉時代にすでに築城されていた。信長は佐和山城を利用し、丹羽長秀らを城主にした。後に石田三成が城主となったが、関ヶ原の合戦後東軍により落城。以後廃された。

問 47

滋賀県琵琶湖研究所の調査によると、琵琶湖の最大水深は103.58m、平均水深は約41.2mである。

問 48

ふなずしに使うのは、ニゴロブナである。

問 49

永源寺は湖東三山に含まれないが、愛知川溪谷にたたずむ紅葉の名所である。

問 50

沖島は近江八幡市沖約1kmにある。湖中の島に人が生活しているのは世界でも珍しい。漁業が主な産業。近江八幡市の平成19年9月末現在の住民基本台帳によると、人口は394名。